

いつでもどこでもどんなときでも仕事をするための

テレワーク活用術

2020年6月24日

(株)アンドイットラボ

中小企業診断士／ITコンサルタント

安藤 準

内容

1. テレワークの現状

2. テレワークで変わる経営と働き方

3. テレワークで使うツールの基本

4. 知っておきたい労務管理のコツ

5. 今使える補助支援制度

安藤 準 (あんどう ひとし)

- 株式会社アンドイットラボ 代表取締役
- 中小企業診断士 / I Tコンサルタント / 研修講師
- N E Cでシステムトラブル専門のエンジニアとして活動。様々な問題解決に従事する。多くの実績から社長賞受賞。
- プロジェクトマネージャー、管理職を経て独立。
- I T経営コンサルティング会社 (株)アンドイットラボを設立し中小企業の I T活用支援を行う。特にクラウドサービス、I o Tビジネス、A I、RPAサービスなどに関わる。また、商工会議所等の公的機関の専門家、相談員を務める。
- また、全国各地でITセミナー(ITツール活用、AI、RPAなど) を行う一方、企業向けのビジネススキル (経営、マネジメント、リーダーシップ、問題解決、論理・創造思考など) の講師として活動中。産業能率大学やN E Cの講師で年間約 1 0 0 日登壇
- 会社員時代から独立後まで、従業員や経営者の立場で様々な形態のテレワークを経験。



1

テレワークの現状

テレワークとは

ICTを活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方

tele = 「遠隔で」

work = 「働く」

テレワークの3類型

在宅勤務

1日または一部の時間を自宅で業務を行う勤務

サテライトオフィス勤務

所属するオフィス以外のシェアオフィス、コワーキングで業務を行う勤務

モバイルワーク

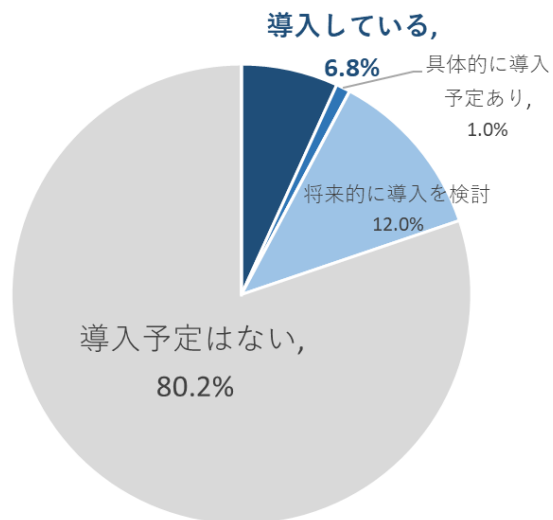
営業活動などで、外出中にカフェや交通機関などで業務を行う勤務

近年のテレワーク導入率

近年少しずつ導入が増加するものの概ね25%程度の導入率に留まっていた。

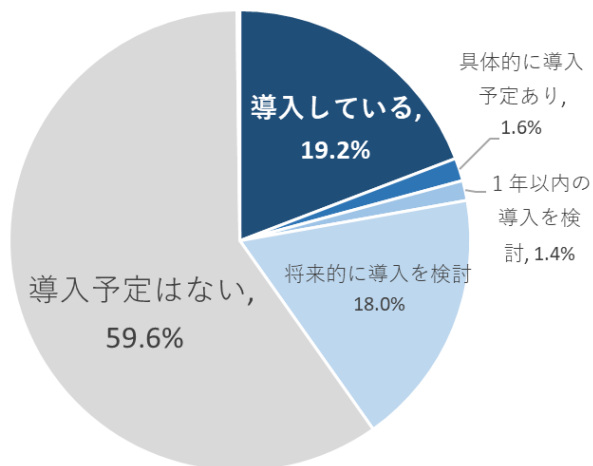
東京都「多様な働き方に関する実態調査報告書」より

2017年



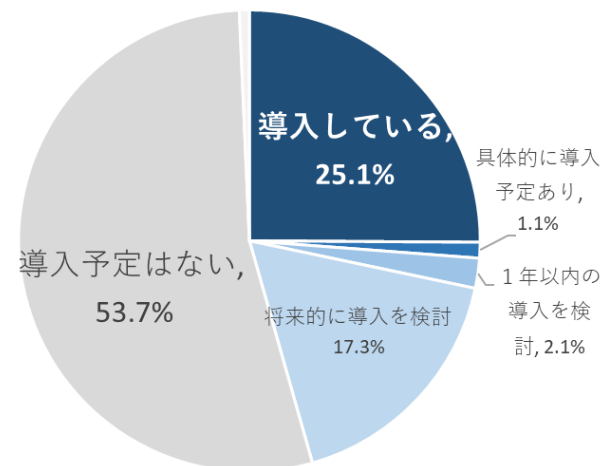
(n=1985)

2018年



(n=1964)

2019年



(n=2068)

出典：東京都 多様な働き方に関する実態調査(テレワーク)報告書(平成29年～令和元年)から作成

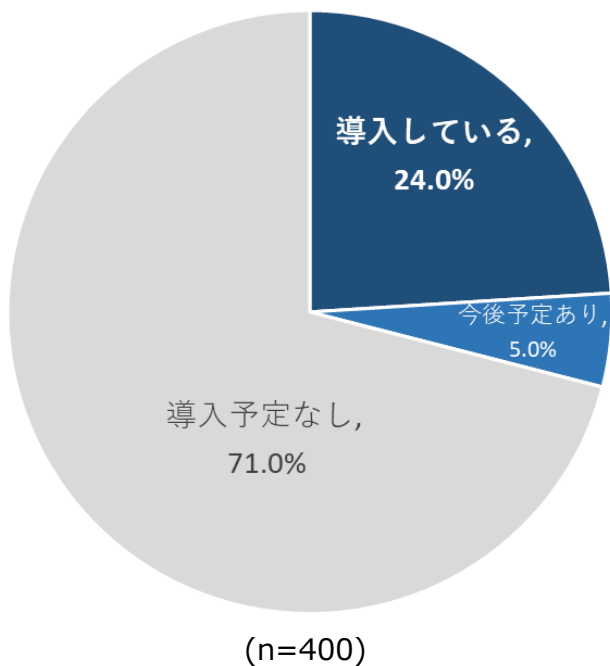
新型コロナウイルスの影響によるテレワーク導入率変化

緊急事態宣言によって急激にテレワーク導入率が進む

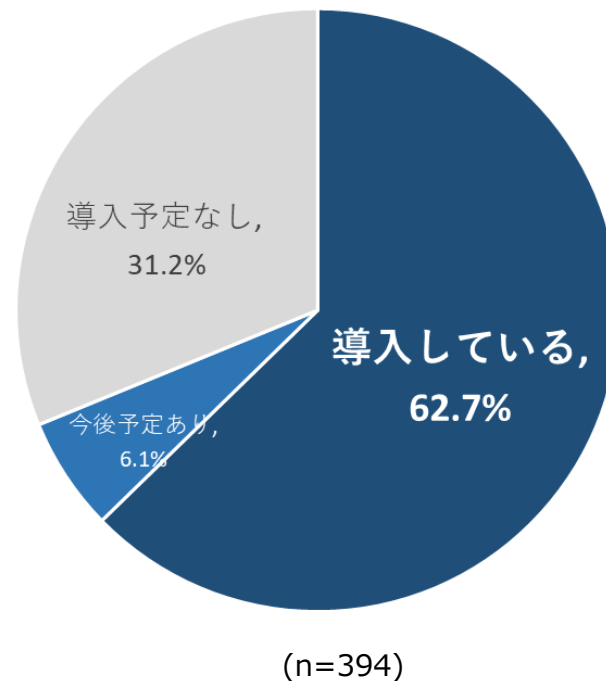
東京都「テレワーク導入率」緊急調査結果 (2020年5月11日発表)より

Q : テレワークを導入していますか
対象 : 都内企業 (従業員30人以上)

2020年3月



2020年4月



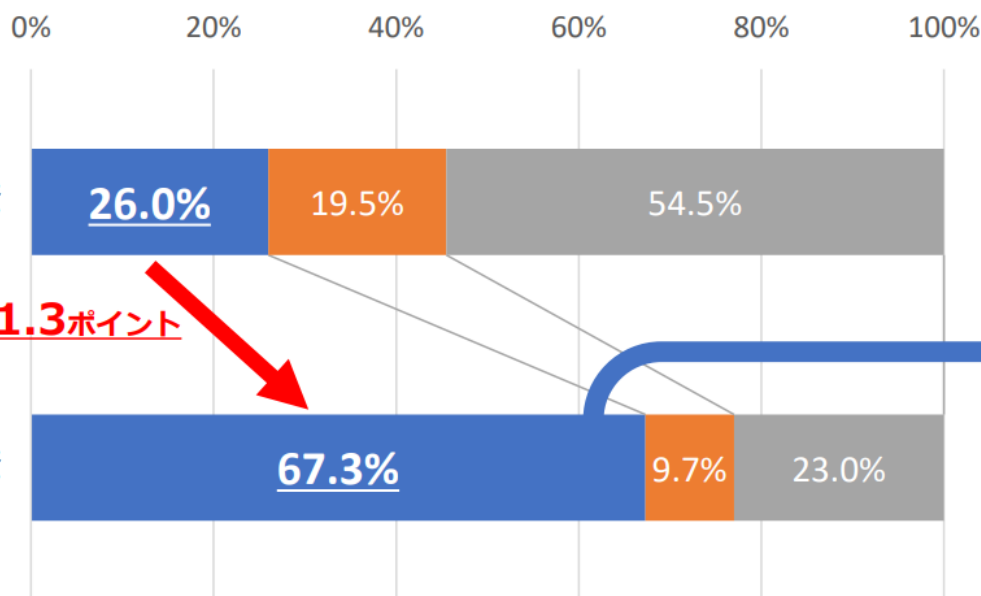
出典 : 東京都「テレワーク導入率」緊急調査結果(5月11日発表)から作成
調査期間 : 2020年3月、4月 (日付不明)

新型コロナウイルスの影響によるテレワーク導入率変化

4月中に多くの事業者がテレワークを導入した様子が見えてくる

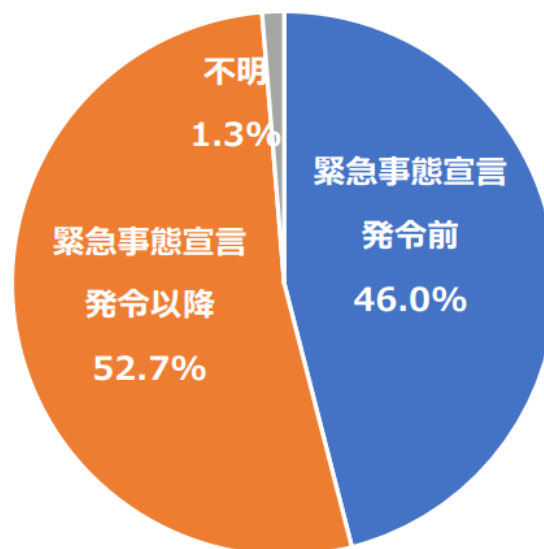
東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」調査結果(6月17日発表)より

テレワークの実施割合



テレワークを開始した時期

(n=742)



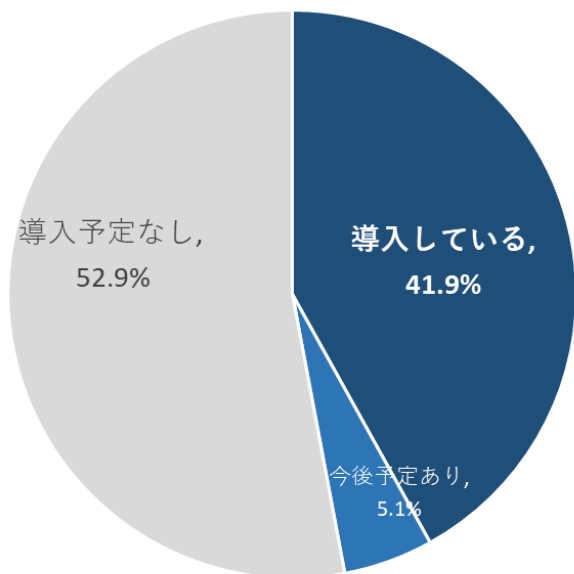
前回調査：2020年3月13日～31日
今回調査：2020年5月29日～6月5日

出典：東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」2020年6月17日発表

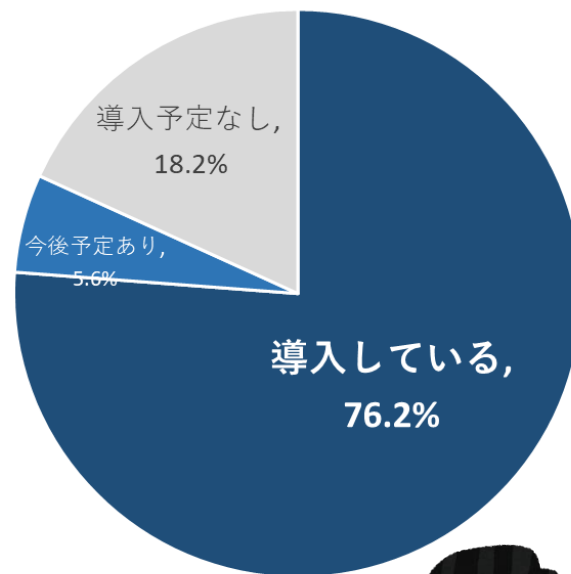
業態別の導入率変化（事務・営業中心）

事務・営業中心の業態では76%が導入した

2020年3月



2020年4月



主な業種

- 情報通信業
- 金融業・保険業
- サービス業
- など

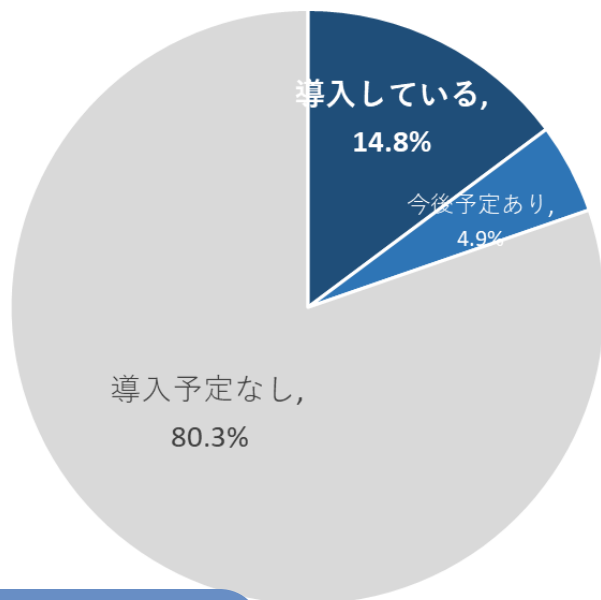


出典：東京都「テレワーク導入率」緊急調査結果(5月11日発表)から作成
調査期間：2020年3月、4月（日付不明）

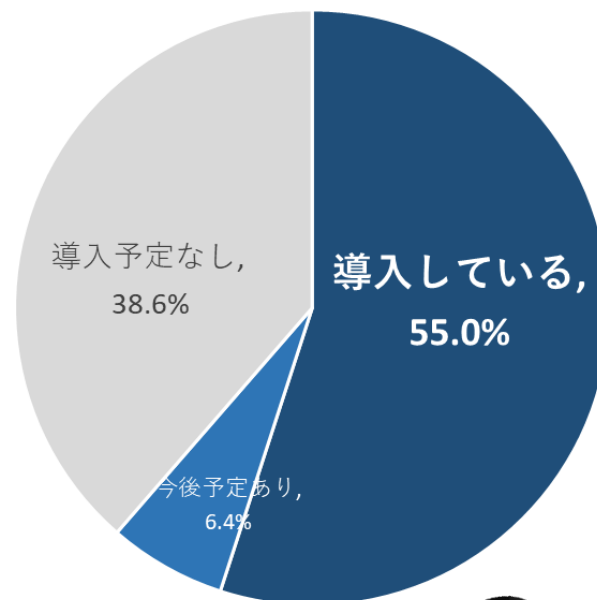
業態別の導入率変化（現場作業・対人サービス中心）

現場・対人サービス中心の業態でも55%が導入した

2020年3月



2020年4月



主な業種

- 建設業・製造業
- 運輸・郵便業
- 医療・福祉
- 飲食・宿泊業
- 小売業
- など



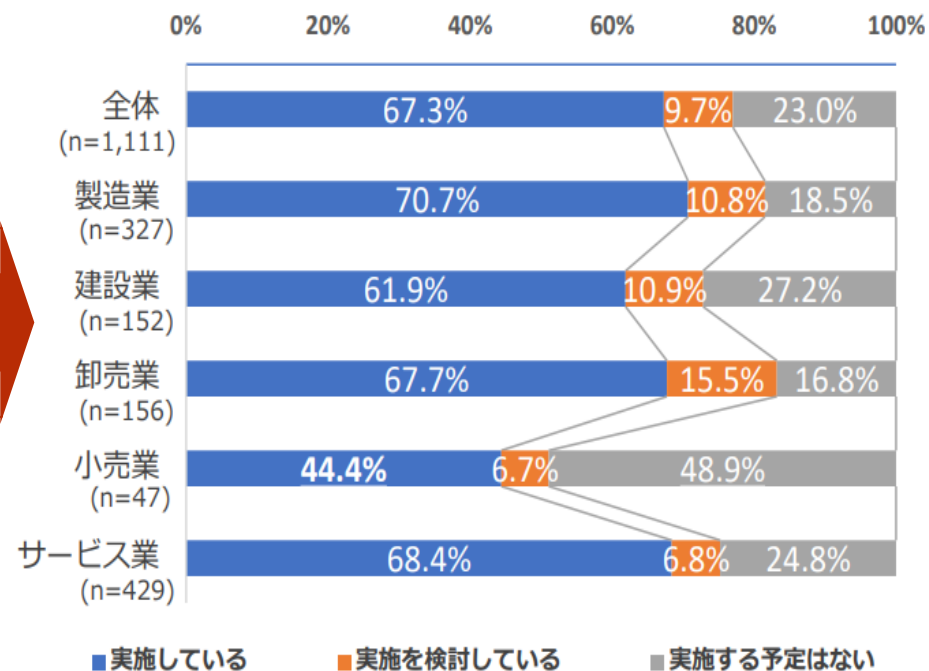
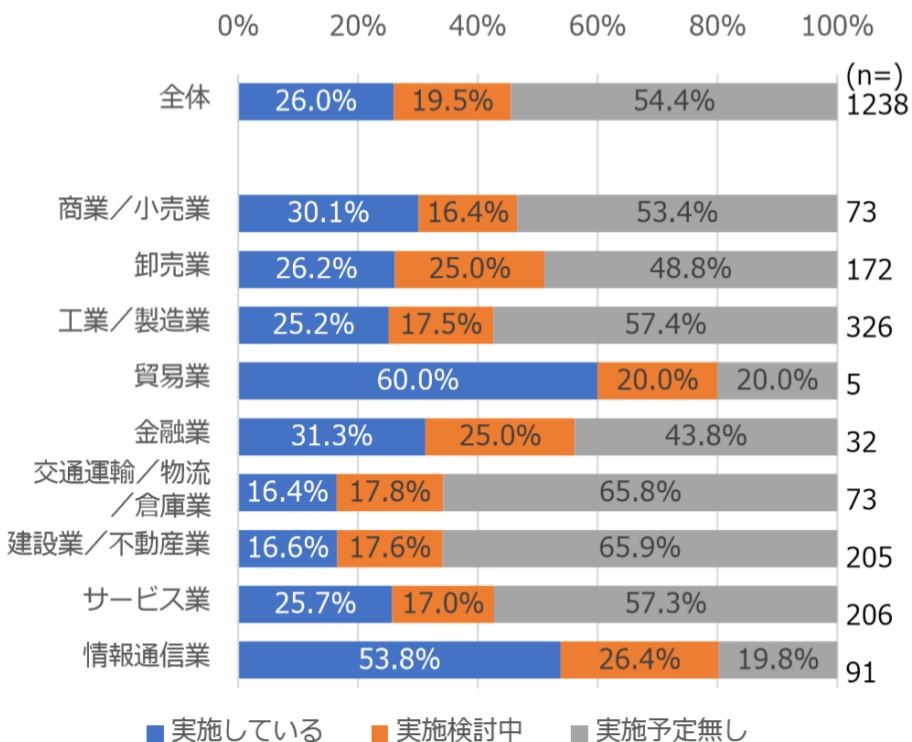
出典：東京都「テレワーク導入率」緊急調査結果(5月11日発表)から作成
調査期間：2020年3月、4月（日付不明）

業種別の導入率変化 (2020年3月→5月)

テレワーク導入率は業種によって大きく異なる

2020年3月

2020年5月



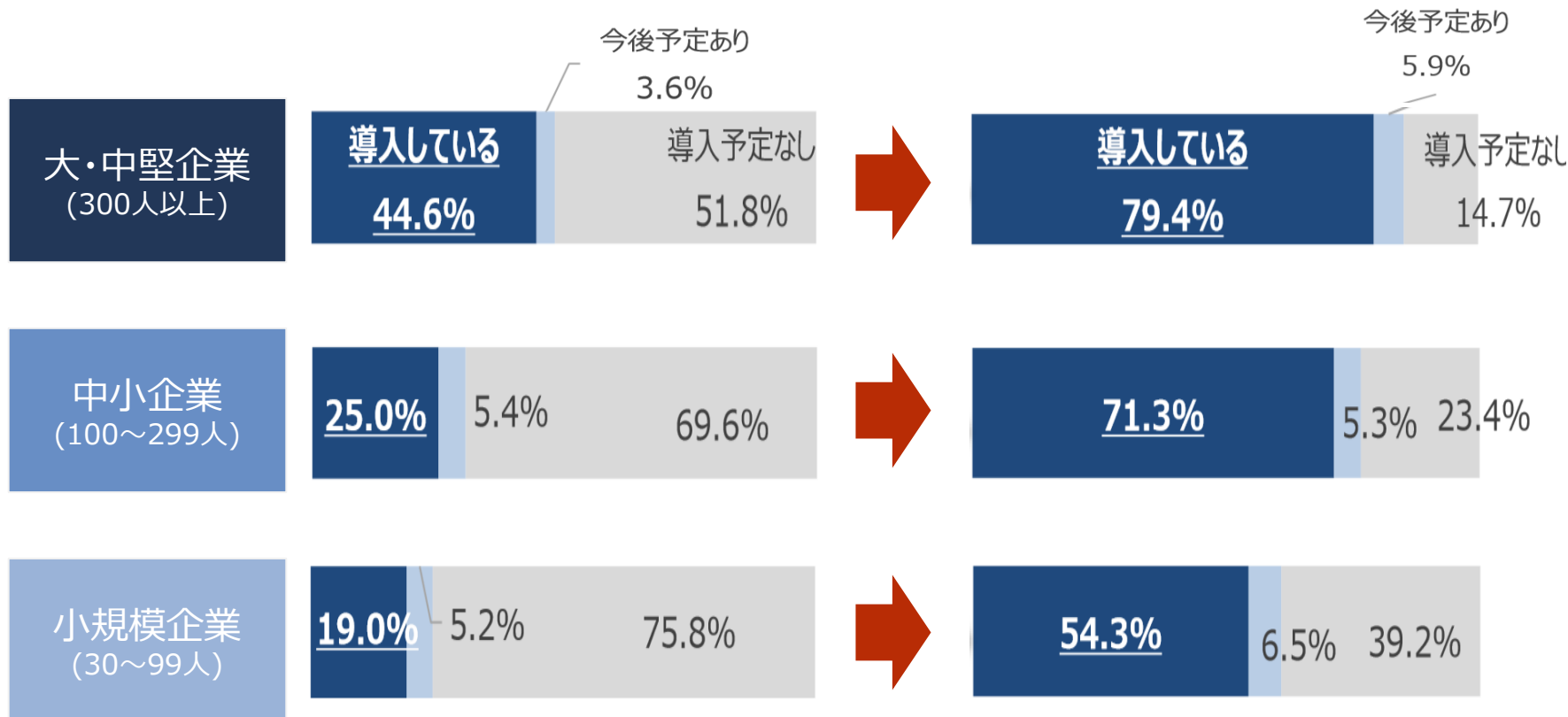
出典：東京商工会議所「新型コロナウイルス感染症への対応について」2020年4月8日発表
東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」2020年6月17日発表

従業員規模別の導入率

もともと大企業ほど導入が進んでいたが、
新型コロナウイルスの影響で中小規模企業の導入も大きく進んだ

2020年3月

2020年4月



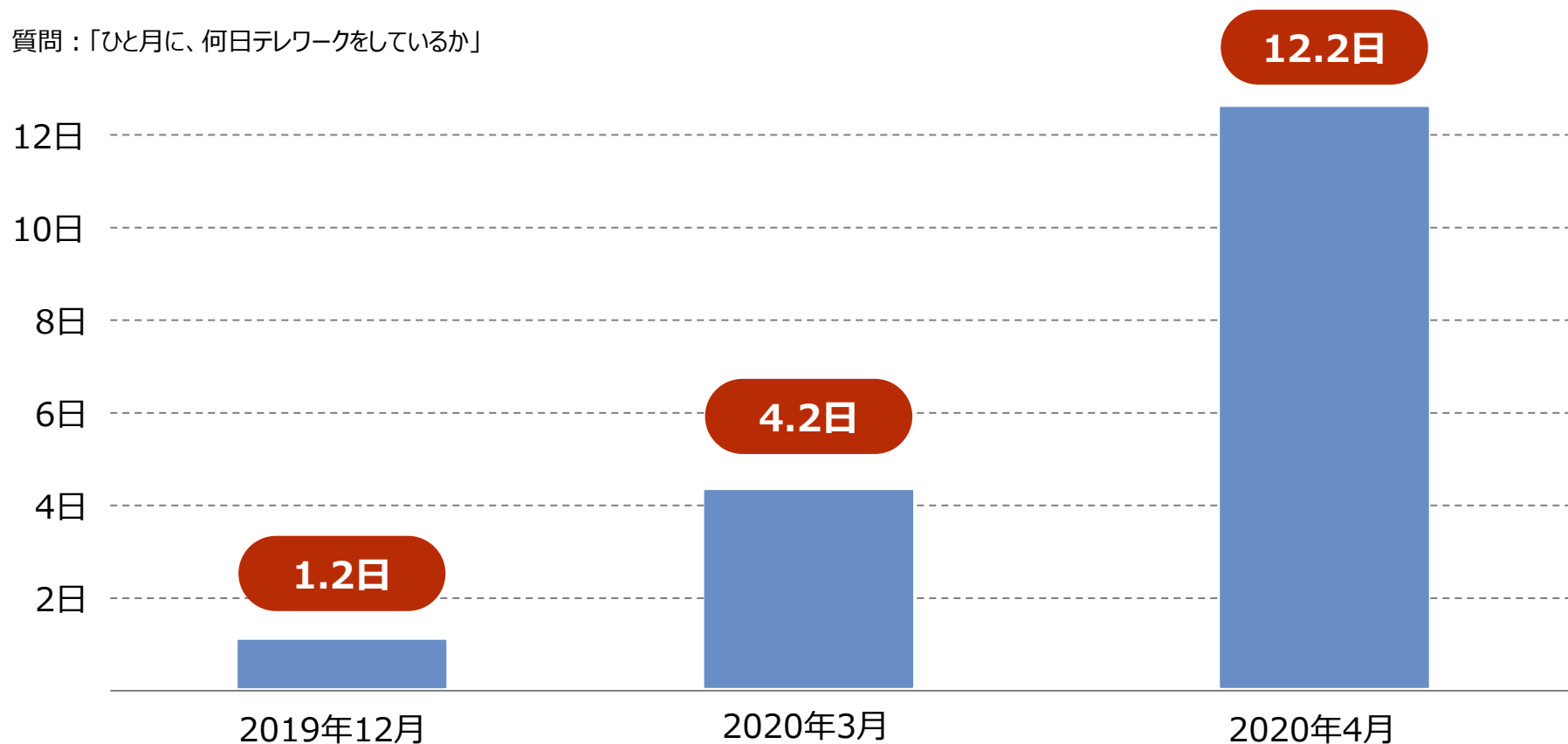
出典：東京都「テレワーク導入率」緊急調査結果(5月11日発表)から作成
調査期間：2020年3月、4月（日付不明）

テレワークの実施日数①

緊急事態宣言中は平均12日程度の日数をテレワーク

東京都「テレワーク導入率」緊急調査結果（2020年5月11日発表）より

質問：「ひと月に、何日テレワークをしているか」

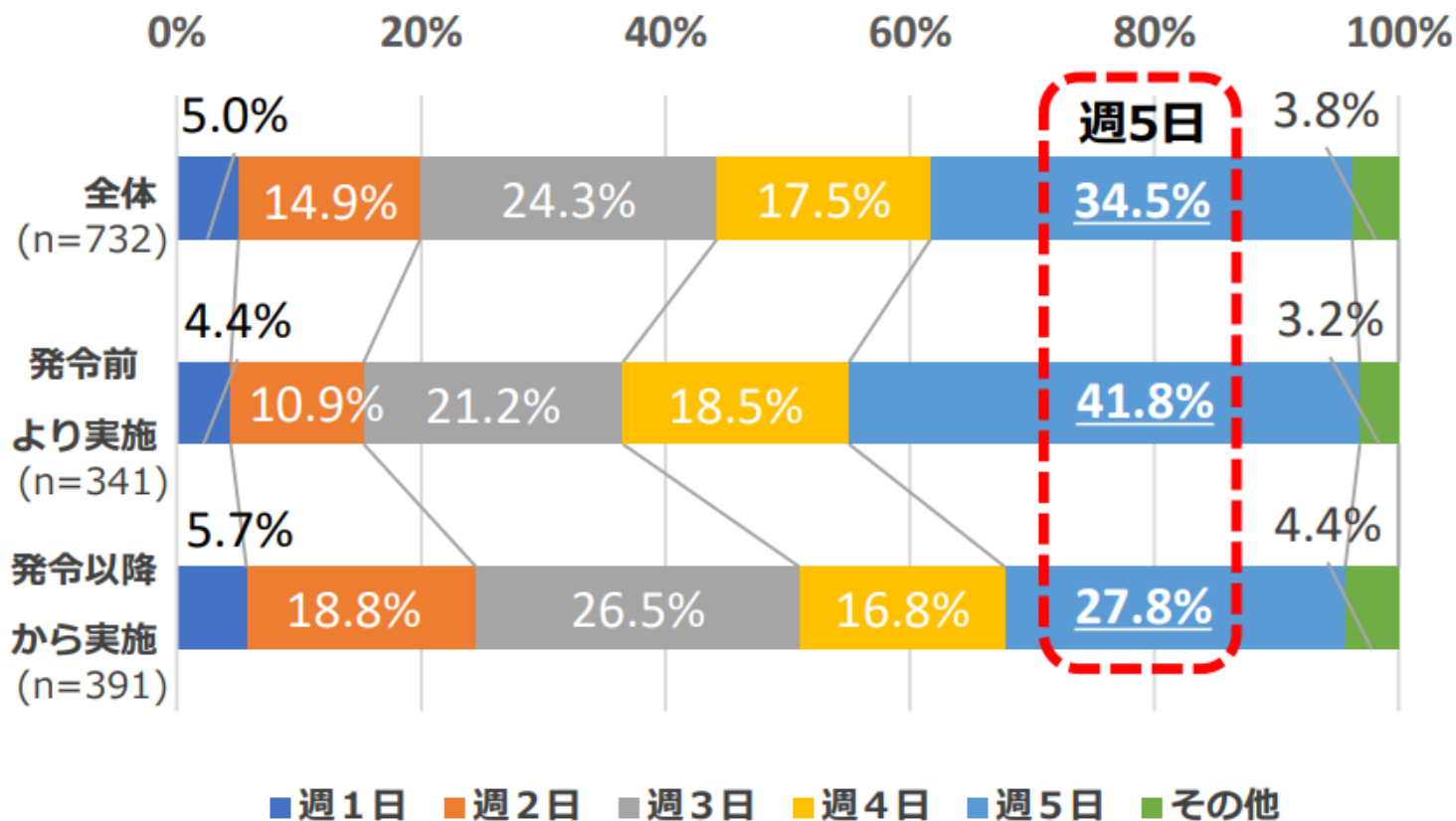


出典：東京都「テレワーク導入率」緊急調査結果(5月11日発表)から作成
調査期間：2020年3月、4月（日付不明）

テレワークの実施日数②

5月は平均週3.5日(ひと月約14日)※のテレワークを実施

東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」調査結果(6月17日発表)より



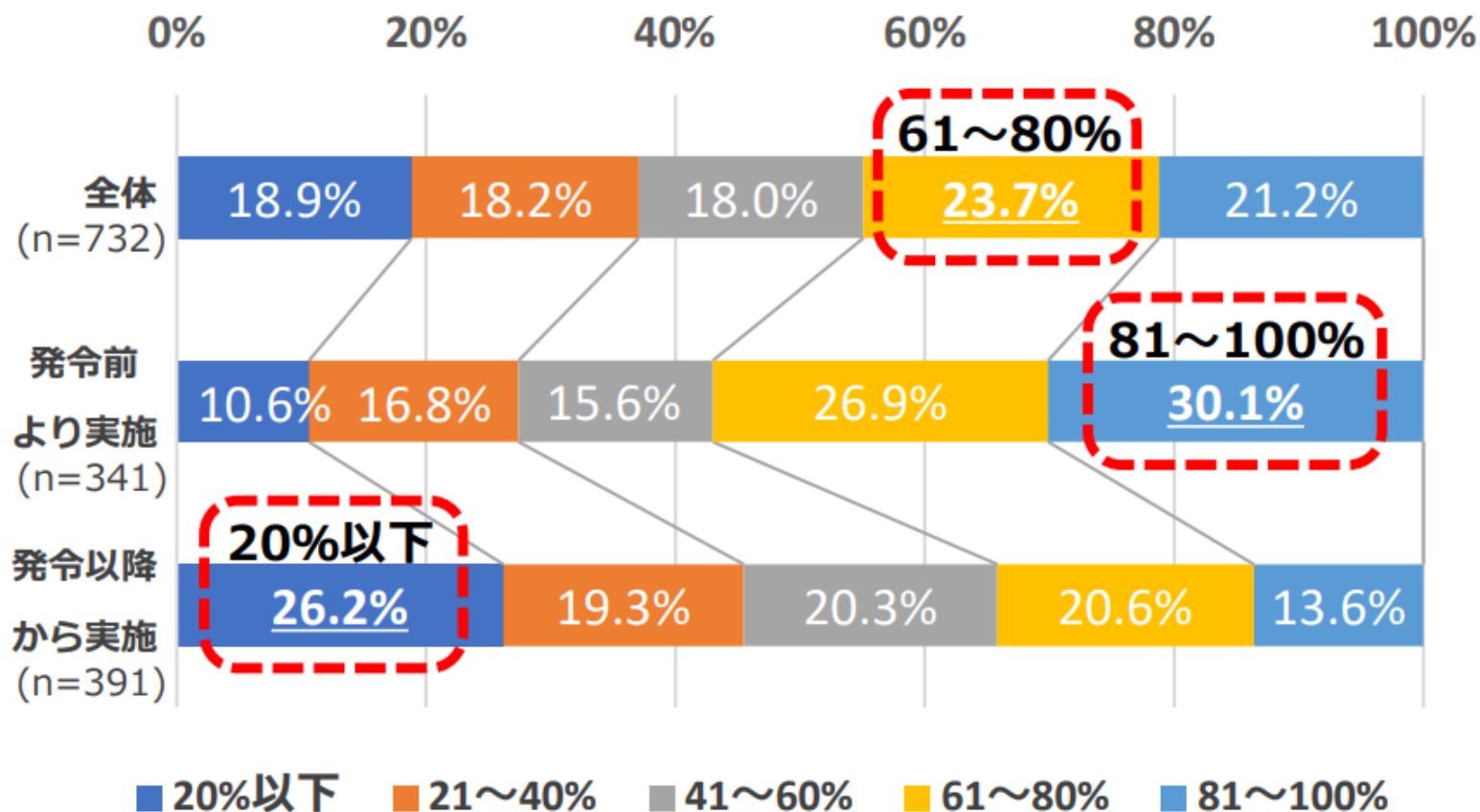
※発表資料の全体から加重平均で推定

出典：東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」2020年6月17日発表

テレワークを実施している社員の割合

5月は平均約52%※の社員がテレワークを実施

東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」調査結果(6月17日発表)より



※発表資料の全体から中央値と加重平均で推定

出典：東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」2020年6月17日発表

テレワークを実施した際の課題

発令前は「やり方」、発令後は「環境」が課題であった

東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」調査結果(6月17日発表)より

テレワークを実施した際に生じた課題

	全体 (n=732)	発令前より実施 (n=341)	発令以降から実施 (n=391)
1位	ネットワーク環境の整備 56.7%	書類への押印対応 60.1%	PC・スマホ等機器の確保 58.8%
2位	PC・スマホ等機器の確保 55.9%	社内のコミュニケーション 58.1%	ネットワーク環境の整備 57.3%
3位	社内のコミュニケーション 55.5%	ネットワーク環境の整備 55.4%	情報セキュリティ体制整備 55.2%
4位	情報セキュリティ体制整備 50.9%	PC・スマホ等機器の確保 52.5%	社内のコミュニケーション 55.5%
5位	書類への押印対応 49.9%	情報セキュリティ体制整備 44.9%	業務プロセスの洗い出し・構築 44.2%

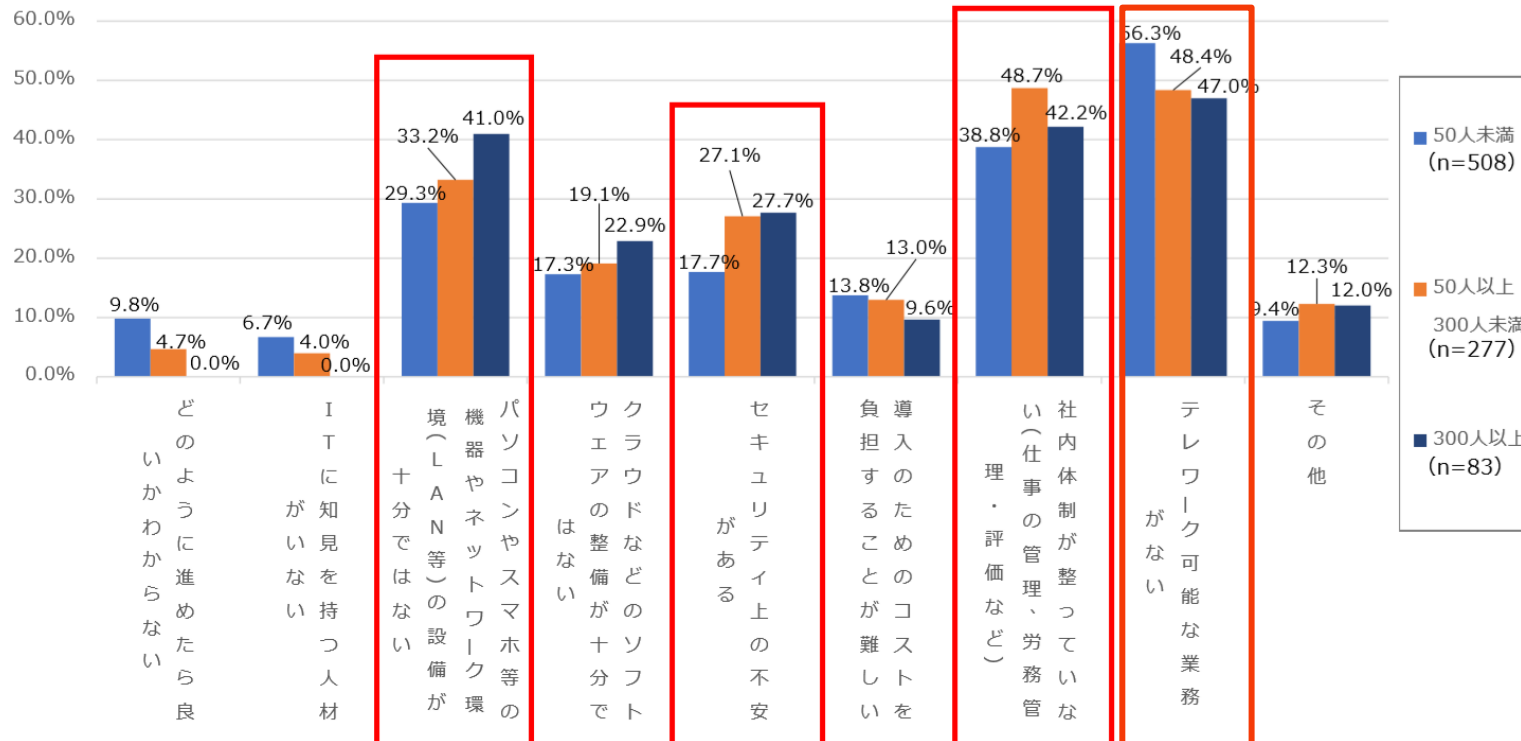
(複数回答・上位5項目)

テレワーク未実施企業の課題

発令前後ともに「テレワーク可能な業務がない」が大きな理由

【従業員規模別】

※（１）テレワーク「実施検討中」「実施予定無し」の企業による回答



	前回調査 (n=872)	今回調査 (n=356)
1位	テレワーク可能な業務がない 52.8%	社内体制が整っていない 51.1%
2位	社内体制が整っていない 42.2%	テレワーク可能な業務がない 49.4%
3位	パソコンやスマホ等の設備が十分でない 31.8%	パソコンやスマホ等の設備が十分でない 47.5%

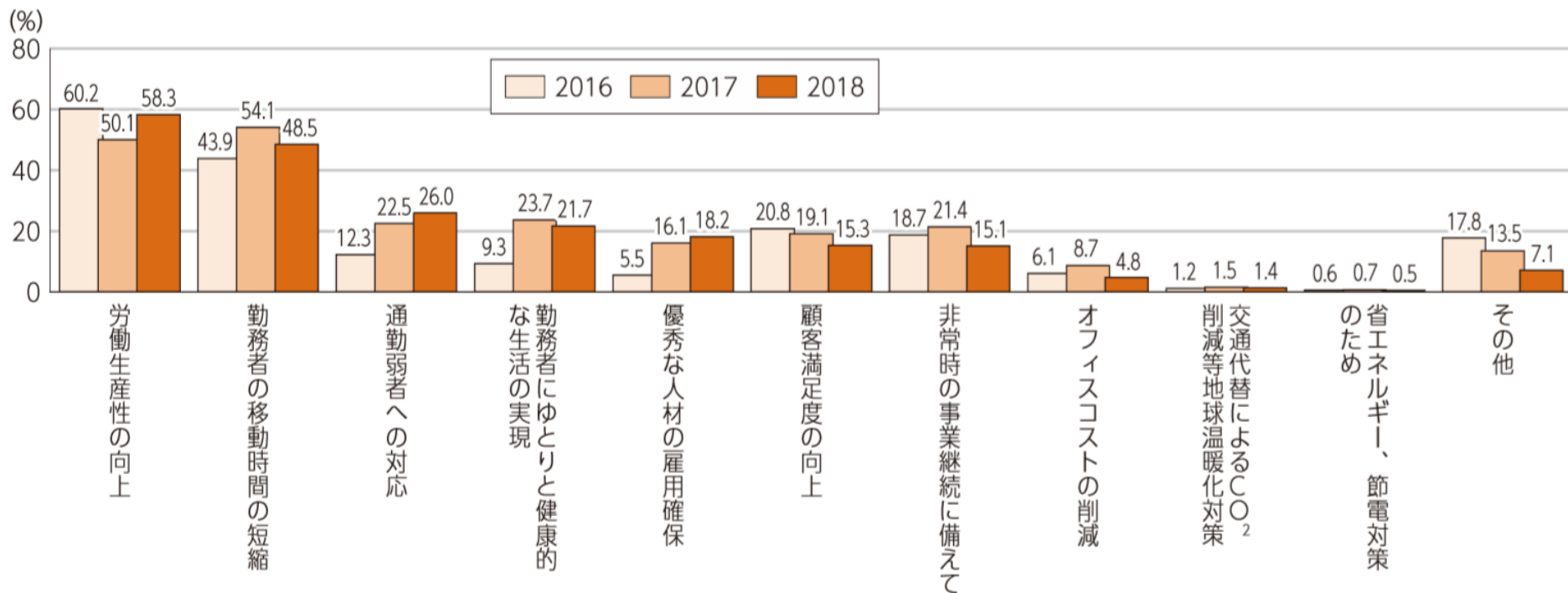
(複数回答・上位3項目)

業種によってできる/できないは2極化し、
できる会社の課題は社内体制や設備

出典：東京商工会議所「新型コロナウイルス感染症への対応について」2020年4月8日発表
東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」2020年6月17日発表

テレワーク導入の目的

もともとは生産性向上、移動時間の短縮が多かった



出典：情報通信白書（令和元年版）より

テレワーク実施の効果

「働き方改革(時間外業務の削減)が進んだ」が最多

東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」調査結果(6月17日発表)より

	全体 (n=732)	発令前より実施 (n=341)	発令以降から実施 (n=391)
1位	働き方改革が進んだ 50.1%	働き方改革が進んだ 54.0%	働き方改革が進んだ 47.6%
2位	業務プロセスの見直しができた 42.3%	業務プロセスの見直しができた 46.3%	業務プロセスの見直しができた 38.9%
3位	定型的業務の生産性が上がった 17.0%	定型的業務の生産性が上がった 20.5%	特になし 19.7%
4位	特になし 17.0%	コスト削減 15.2%	定型的業務の生産性が上がった 13.6%
5位	コスト削減 14.3%	特になし 11.4%	コスト削減 13.3%

〈企業の声〉

(複数回答・上位5項目)

「テレワーク導入を機に、社内稟議について全てオンライン決裁できるよう変更した」【発令以降から実施/小売業/30人未満】

「緊急事態宣言発令中、出勤抑制のためテレワークを実施した。時間外業務は減少したが、生産性や業績の向上に寄与するかは、

まだ見極められておらず、このまま継続するかは未定である」【発令以降から実施/サービス業/30人未満】

「6月に入りテレワークは一旦廃止、全員出社とした。テレワークの効果は見えづらい」【発令以降から実施/建設業/30~49人】

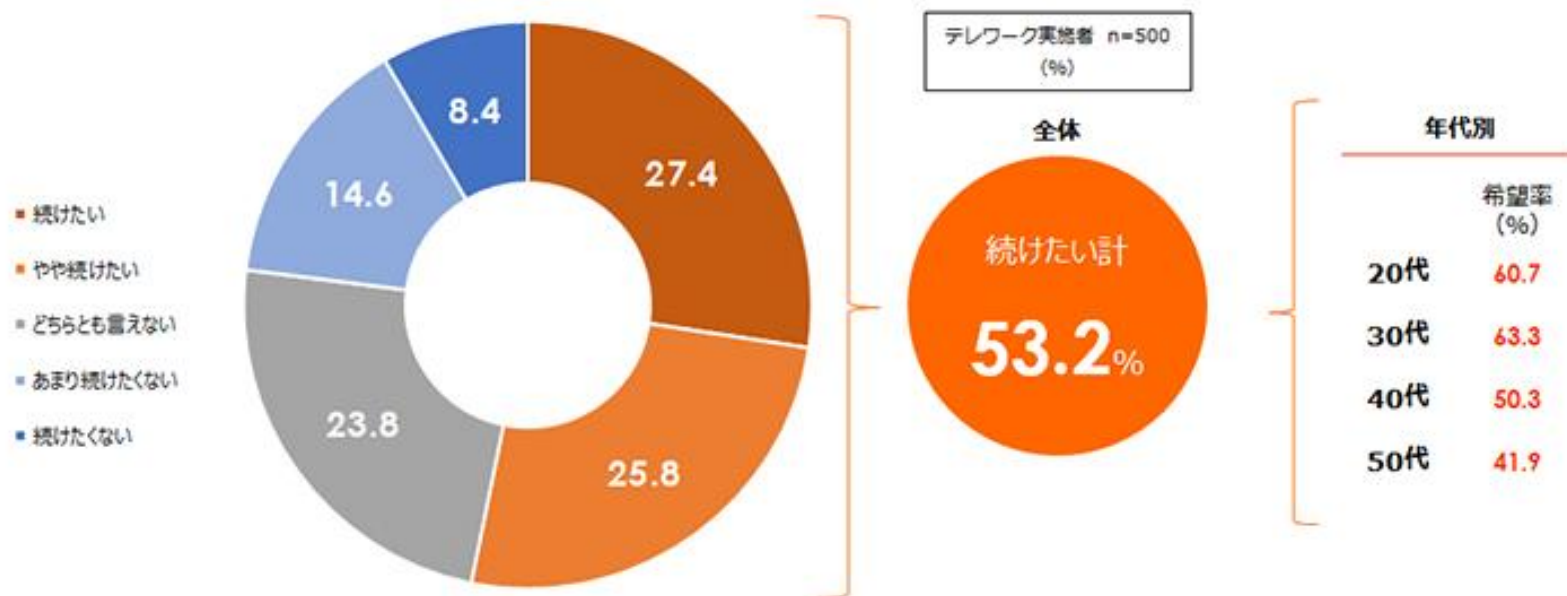
出典：東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」2020年6月17日発表

テレワークを経験したことで「働き方改革が進んだ気になっている？」可能性もある

テレワークの継続希望

今後も多くの人テレワークに前向きな反応

コロナウイルスが収束した後も、テレワークを続けたいですか。続けたくないですか。(単一回答)



出典：パーソル総合研究所「新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査」

調査期間 第一回調査：2020年3月9日～15日

第二回調査：2020年4月10日～12日

対象 全国20～59才男女、勤務先従業員数10人以上

<https://rc.persol-group.co.jp/research/activity/data/telework.html>

企業の声（工夫・今後）

東京商工会議所「テレワークの実施状況に関する緊急アンケート」調査結果(6月17日発表)より

テレワークを実施するにあたり工夫している点

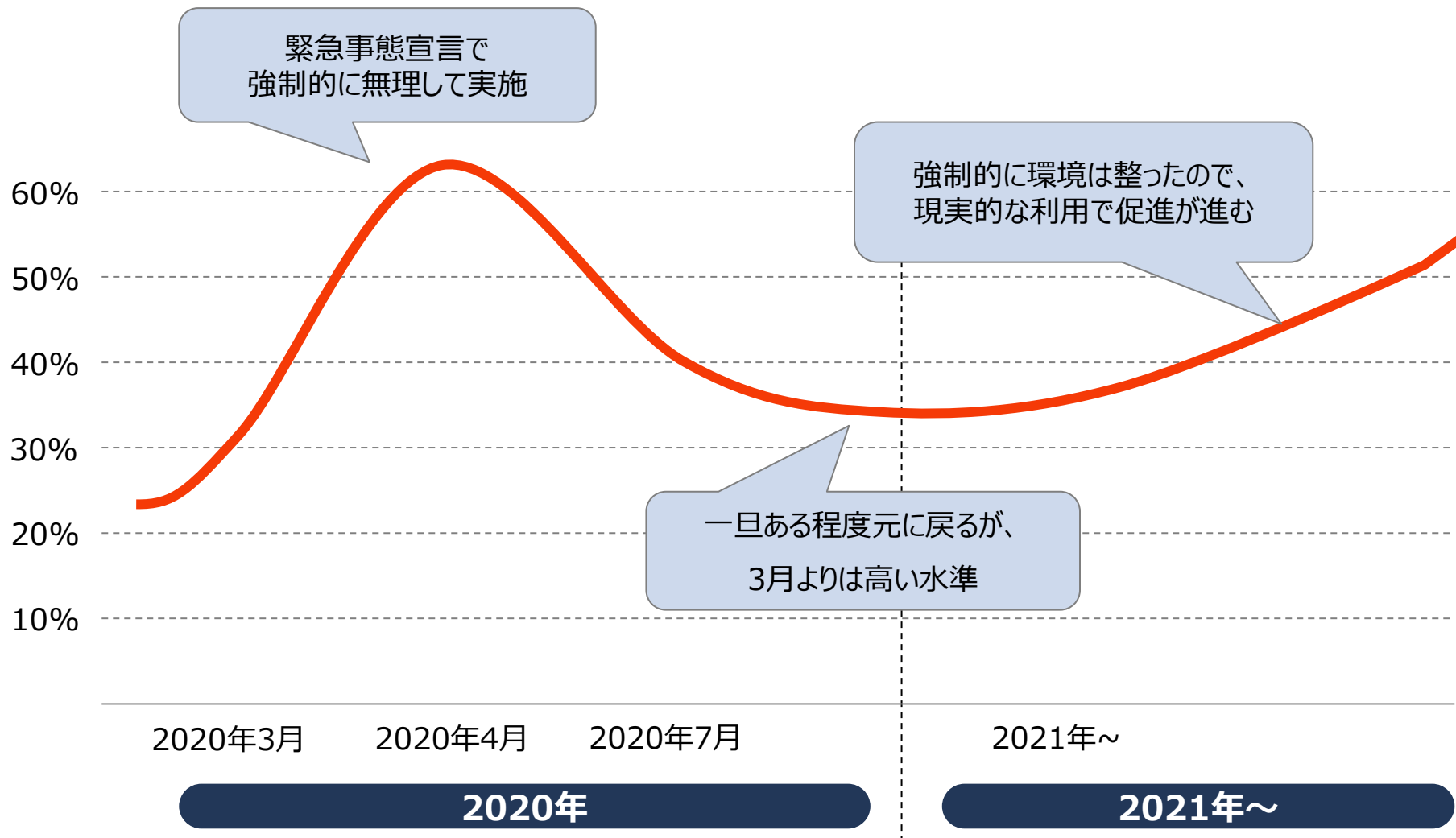
- 社内の情報共有については無料のチャットツールを活用するなど、**身の丈にあったITツールを活用しテレワーク環境を整備している。**【発令以降から実施／製造業／30人未満】
- 全社員にノートPCを配布し、勤怠管理や業務報告もクラウドサービスを活用、**会社でもテレワークでも同じやり方で業務をオンラインで完結**させるようにした。【発令以降から実施／小売業／30人未満】
- Web会議システムを活用することで、**テレワークしている社員ともコミュニケーションが途切れないようにしている**ほか、テレワーク始業時と終業時に上司へメールで報告することでオンオフのメリハリをつけている。【発令以降から実施／サービス業／50人以上100人未満】

今後のテレワーク推進に向けた取り組み

- 既にテレワークを実施しているが、**コロナ感染拡大の第2波に備え**、まだ十分とはいえない情報セキュリティ体制を整備していく方針である。【発令以降から実施／建設業／30人以上50人未満】
- 現状は、ほとんどの業務プロセスを紙で実施しており、ペーパーレス化が課題となっているため、システム業者と打合せを進めて、**ペーパーレス化を段階的に進めることによって、テレワークを本格的に稼働させていく**予定である。【実施を検討している／サービス業／30人以上50人未満】

今後の導入率・利用率の変化予想イメージ

一旦、元に戻るが少しずつ浸透していくと予想する



テレワークの実態調査結果の考察

① 導入率は今後50%割程度と予想※1

② テレワーク日数は月4～6日程度と予想※2

③ 今回の件でインフラ課題は解決が進む

④ 文化定着には引き続き模索が続く

※1 2020年3月時点実施している24%を基準に、4～5月に実施を始めた40%のうち今後も続けたい53%と今後実施したい割合を合計して推定

※2 企業の声から緊急事態宣言中のひと月12～14日は一時的な異常値と推測。リモートワーク実施にすぐに取り組んだ(あるいはもともと取り組んでいた)企業が中心と考えられる2020年3月時点で実施している会社4.2日程度が今後の基準になると予想



2

テレワークで変わる 経営と働き方

テレワークの「あるある」 ～働き方編～

- 始業15分前に起きる
- 子供やペットが邪魔…
- 運動しなくなる
- 間食が増える

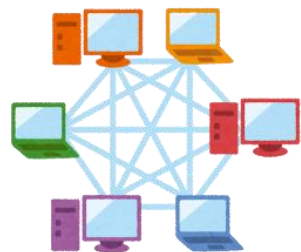


テレワークで働き方はどう変わるのか？

テレワークを使うということは？



オンライン化



電子化



地方化



テレワークで仕事はどう変わるのか？（仕事スタイル）

今まで

これから

立地

都内・オフィス街



郊外・地方



決済

現金



キャッシュレス



移動

電車、車（長距離）



歩き、自転車（短距離）



会議

関係者全員で長時間



最低人数で短時間



書類

紙、判子、パンフレット



データ化、Web



テレワークで仕事はどう変わるのか？（業種別）

今まで

これから

小売店

店頭販売



(もっと)ネットショップ化



飲食店

都内で店舗型



郊外・宅配・テイクアウト



教室

対面、集合型



オンライン教室



医療

オフィス街で開業



オンライン予約制



金融・保険

窓口、対面営業



ネットバンク、オンライン営業

整体・美容

店舗型



出張型



長期的に広く考えると社会はどう変わっていくのか？

今のモデルが良いのか？ 長期トレンドも考えることが大切

社会の
長期的トレンド




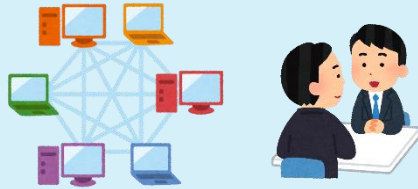
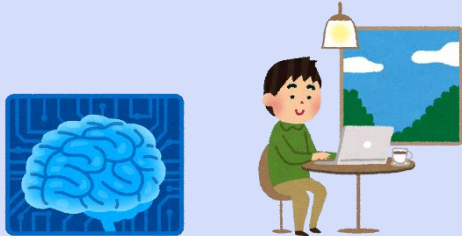
新型コロナウイルスによる
短期的インパクト

- 働き方改革・多様な働き方の推進
- ワークライフバランス
- IT技術、ロボット技術の進展
- PC、スマートフォンの普及
- ネットワークの高速化
- 少子高齢化

- 3密回避
- 災害対策
- ITツールの利用促進
- テレワーク文化の定着

もともと変化の流れはあったものが新型コロナで促進される

長期トレンド：会社の価値観はどう変化してきたか

	過去	現在	今後(予想)
主な産業	<ul style="list-style-type: none">自動車、船舶電機、家電鉄鋼	<ul style="list-style-type: none">通信、ネットサービス自動車観光／コンテンツ	<ul style="list-style-type: none">AI／ロボットエンターテインメント個別サービス
組織	<ul style="list-style-type: none">トップダウン型ピラミッド組織	<ul style="list-style-type: none">ボトムアップ型フラット組織	<ul style="list-style-type: none">個人主義分散組織
人材	<ul style="list-style-type: none">正社員中心終身雇用時間労働勤務	<ul style="list-style-type: none">派遣、パート増加裁量労働勤務	<ul style="list-style-type: none">フリーランス業務委託型
キーワード	<ul style="list-style-type: none">モーレツ社員24時間働けますか？	<ul style="list-style-type: none">ワークライフバランス働き方改革ブラック企業	<ul style="list-style-type: none">自由とやりがいプライベート充実遊ぶ仕事
			

短期インパクト：新型コロナ影響で気づいたこと

①テレワークでも意外に仕事ができる

②すべてテレワークも無理がある

③移動(特に満員電車)がないのが快適

④自己管理が問われる

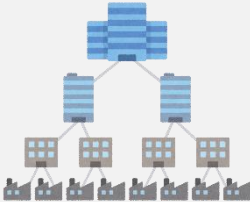

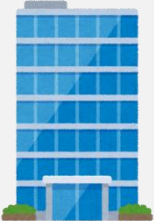





メリットとデメリットの体験と認識

今後はバランスの良いテレワーク活用が模索されていく







長期的に会社はどう変わっていくか？

① 経営

	今まで	これから
経営方針	<ul style="list-style-type: none">• 人員規模拡大• 資本増大 	<ul style="list-style-type: none">• 集中とネットワーク化• 資産を持たず変動費• 小さい固定費 
職場・オフィス	<ul style="list-style-type: none">• 都心集中型• 全員入れるオフィス 	<ul style="list-style-type: none">• 分散型(サテライト/自宅)• コンパクトなオフィス 
マネジメント	<ul style="list-style-type: none">• 時間管理• 階層組織• 指示命令 	<ul style="list-style-type: none">• 成果主義• 裁量労働• 依頼委託 






長期的に会社はどう変わっていくか？

②人材

	今まで	これから
雇用	<ul style="list-style-type: none">• 正社員• 派遣、パートタイム 	<ul style="list-style-type: none">• 正社員、委託スタッフ• 個人事業/フリーランス
働き方	<ul style="list-style-type: none">• 定時間労働• 労働時間が基準• 労働基準法 	<ul style="list-style-type: none">• 多様で柔軟• 短縮勤務• 成果主義 
住居	<ul style="list-style-type: none">• 会社・職場の近く• 都心 	<ul style="list-style-type: none">• 郊外• 全国 
採用	<ul style="list-style-type: none">• 新卒採用• 直接面談 	<ul style="list-style-type: none">• 中途採用• 全国、遠隔面談

長期的に会社はどう変わっていくか？

③仕事

	今まで	これから
営業	<ul style="list-style-type: none">対面(会ってナンボ)足で稼ぐ飛び込み営業 	<ul style="list-style-type: none">オンライン営業端的・論理的説明全国営業
販売	<ul style="list-style-type: none">店頭販売実物主義 	<ul style="list-style-type: none">ECサイトWeb、動画PR物流販売 
職場	<ul style="list-style-type: none">自分の机と椅子紙やファイル行先掲示板など	<ul style="list-style-type: none">フリーデスク電子データITツール
会議	<ul style="list-style-type: none">顔を合わせる長時間 	<ul style="list-style-type: none">オンライン会議短時間 

今後の変化で大切なこと

① 長期トレンドから外れるものを再検討

② 古い慣習はすべて疑ってみる

③ 予想するより柔軟性とフットワーク

④ 労働に対する新しい価値観を認識

⑤ 過度に意識しすぎない



3

テレワークで使う ツールの基本

テレワークの「あるある」 ～ツール編～

- すっぴん、下はパジャマ
- 上司がパパになる
- ツール統一してほしい
- Twitter、YouTubeつい見ちゃう



テレワークに必要な基本ツール（クラウドサービス）

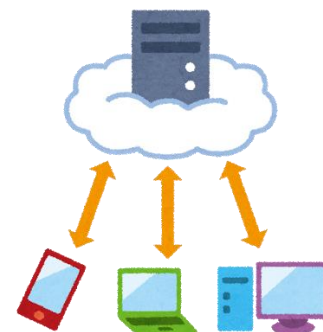
①

Web会議ツール



②

オンラインストレージ

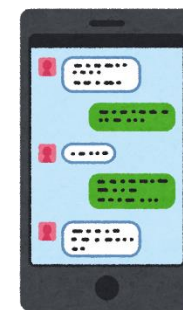


③

グループウェア

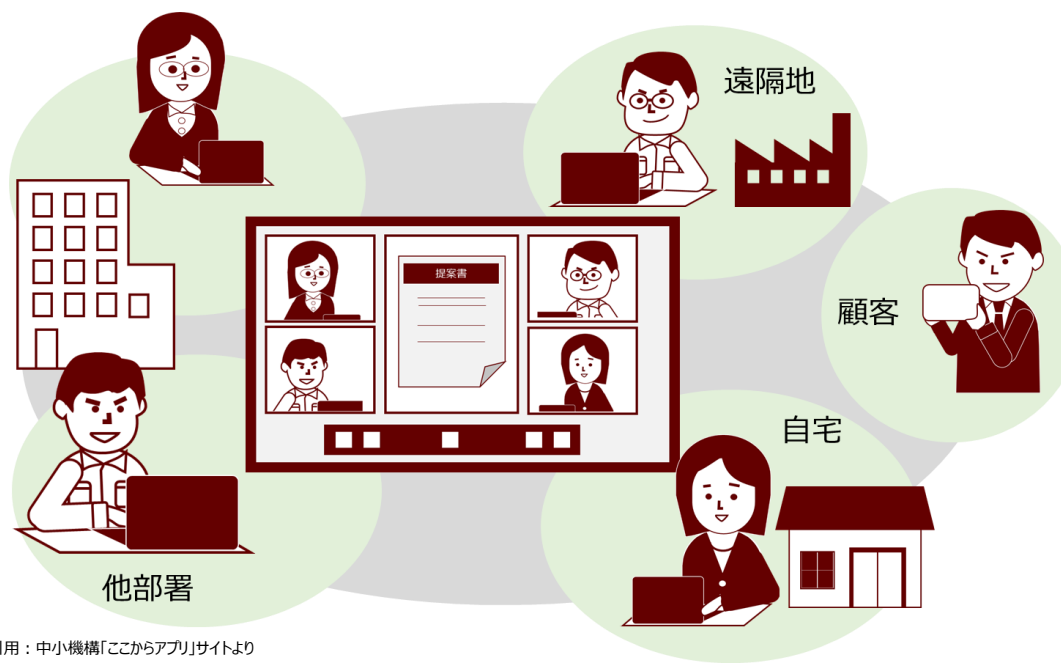
④

ビジネスチャット



① Web会議ツール

インターネットを使って複数のメンバーで顔を見ながら対話できるツール



引用：中小機構「ここからアプリ」サイトより

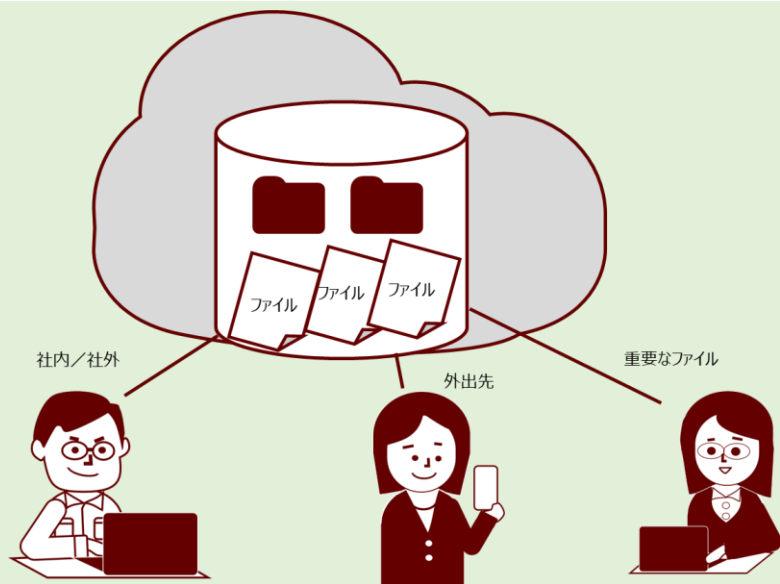
- 通話料は無料
- 課金はホストが多い（ゲストは無料）
- 複数メンバーで対話
- PC画面の資料等を見ながら対話できる
- チャットやホワイトボード機能なども充実



会社でメインを決めつつ一通り使えるようにするのがオススメ

② オンラインストレージ

インターネット上でファイルを保存・共有できるサービス



- クラウド上にファイルや写真を保存
- フォルダ単位で他の人と共有できる
- 他の端末でも同期され同じように見れる
- 自動でバックアップ
- 消しても復活できる機能があるものも
- およそ月額 1 人 500～1000円

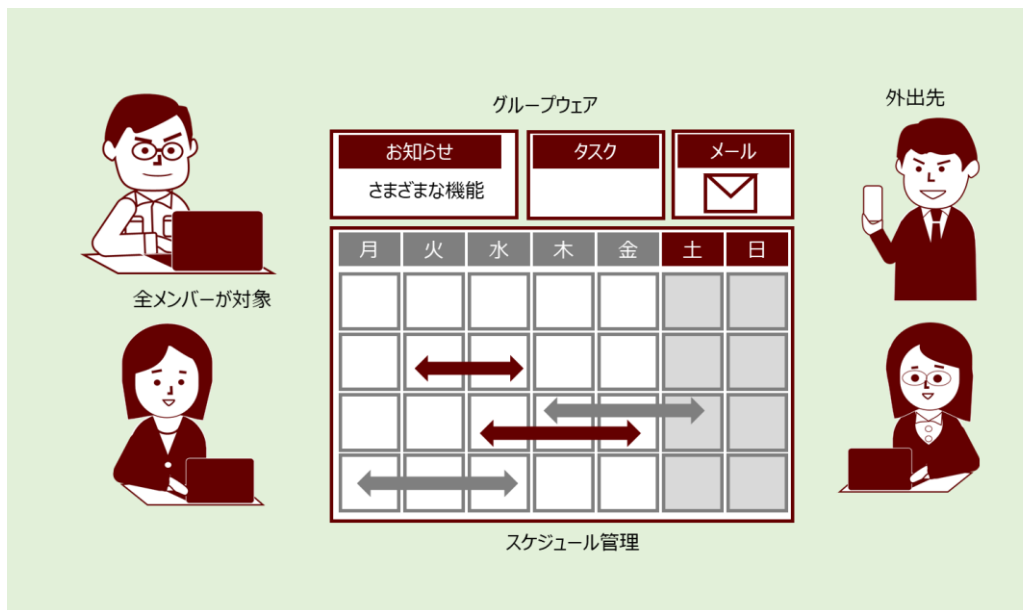
引用：中小機構「ここからアプリ」サイトより



基本サービスだがセキュリティ要件と合わせて考える

③グループウェア

社内でスケジュールや情報を共有するツール



- 全員のスケジュールが見える化
- 会議設定などが楽になる
- タスク管理、情報共有が可能
- メール、チャット機能があるものも
- 社内ポータルサイトとして使う

引用：中小機構「ここからアプリ」サイトより

サイボウズ
Office

ガルーン
Garoon

kintone

desknet's NEO

31
Google Calendar

全員が使いやすいものを選ぶ

④ ビジネスチャット

会社やチーム内でチャットによる連絡ツール



- 電話よりタイミングを選ばず、メールより手軽
- 私人チャットと区別
- プロジェクトやチーム単位でスレッドを作成
- タスク管理、ファイル共有ができるものも
- ビデオ通話、Web会議が可能なものも

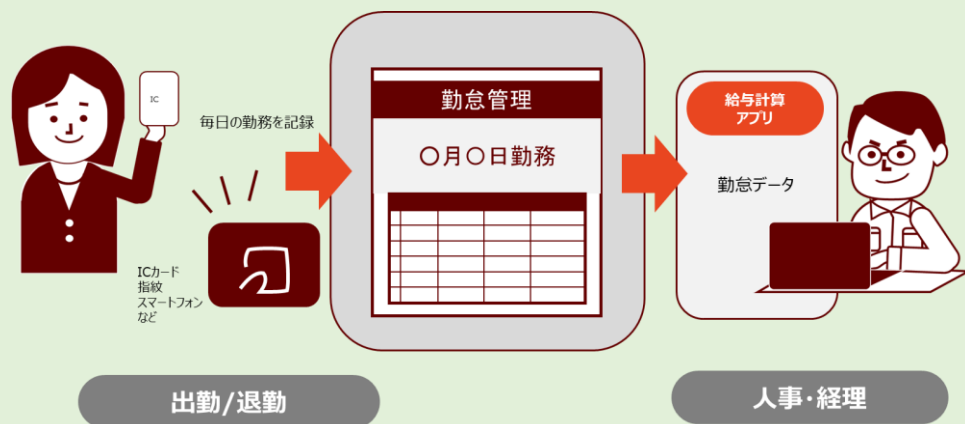
引用：中小機構「ここからアプリ」サイトより



メールよりチャットの利用が進みつつある

その他：勤怠管理

インターネット上に勤怠を記録・計算するサービス



- スマホ、PCから打刻
- ICカード、静脈などでも打刻できる
- 位置情報と組み合わせ可能
- シフト管理、休暇管理
- 給与システムと連動
- 1ユーザ200～500円

引用：中小機構「ここからアプリ」サイトより

ジョブカン
勤怠管理

Touch On Time



人事制度と合わせて考えることがポイント

テレワークに必要な基本ツール（ハードウェア）

①

パソコン

- ✓ 基本的にノートパソコンを貸与
- ✓ データ保管含め私用と区別



②

スマートフォン

- ✓ ガラケーよりスマートフォン
- ✓ 2台持ちよりビジネスアプリを入れる方法も



③

モバイルルータ

- ✓ 通信速度・容量に注意
- ✓ 通信手当の方法もあり



参考：ここからアプリ（中小機構）

中小企業向けのITツール選定サービス（無料）

<https://ittools.smrj.go.jp/>

ここからアプリ
Coco APP

ここからチェック アプリ検索 導入事例
支援者の方へ 生産性向上のために お役立ち情報

中小企業・小規模事業者の生産性向上に関する情報発信サイト

ITプラットフォーム

これから始めるIT×生産性向上

当サイトについて >

チャット相談

従業員の勤怠管理がずっと楽に!

想像していたより簡単にアプリ導入できました!

仕事に専念できる時間が増えました!

注目ワード 使い方ガイド アプリを導入された企業・支援者の動画 アプリ選択ガイド

あなたの仕事のお助けアプリを探す

あなたの業種にあった、お助けアプリが探せます。あなたの業種をチェック!

小売業 飲食業 宿泊業 理容・美容業

個人向けサービス 建設業 製造業 その他

アプリ検索

以下の項目を組み合わせてアプリ検索ができます。

業種から探す

目的から探す

条件から探す

検索する >



4

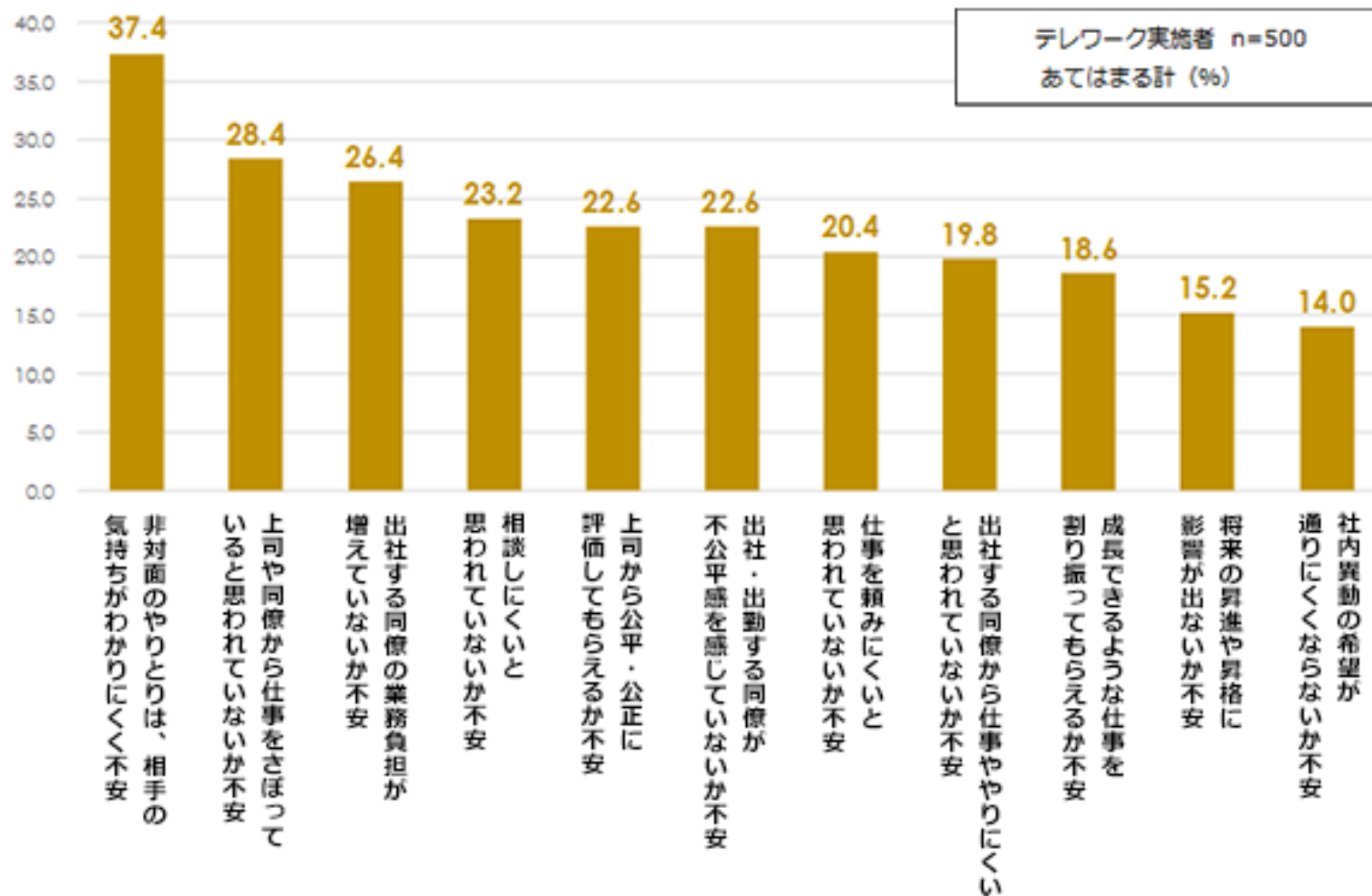
知っておきたい 労務管理のコツ

テレワークの「あるある」 ～労務編～

- 意外にサボらないしサボれない
- 時間関係なく仕事してしまう
- 突然の上司電話が恐怖
- 不満を共有できないので自己処理



テレワークの不安



パーソル総合研究所「新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査」

テレワークの働き方で心配なこと（上司）

サボるのではないか？

コミュニケーションが不足している

業務負担が見えない

評価が難しい



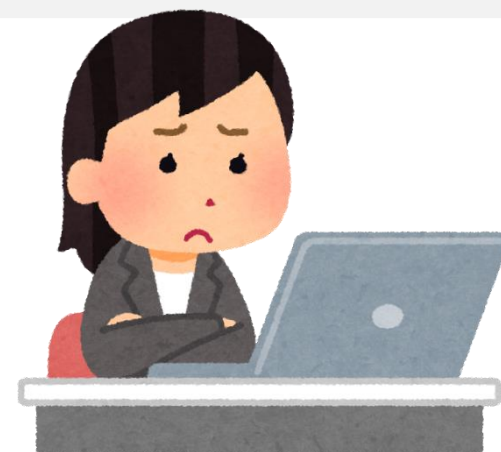
テレワークの働き方で心配なこと（部下）

サボってると思われるのではないかな？

公平・正當に評価してもらえるかな

同僚の負担が増えていないかな

仕事が頼みにくいと思われていないかな



労務管理のポイント（3 + 1ポイント）

①

仕事の見える化

②

コミュニケーション

③

公平な環境・評価

④

仕事に対する意識改革

労務管理のポイント

開始・終了のチャット

簡易レポート

コミュニケーションツールの使い分け

チャットツール、グループウェアを駆使

アウトプットを明確にする(いつまでに何をどうする)

働きすぎに注意

家庭環境別の意識に注意



仕事に対する意識改革

成果を時間で測ろうとしない

監視しようとするな

自己管理とプロ意識

シンプルで信頼あるコミュニケーション



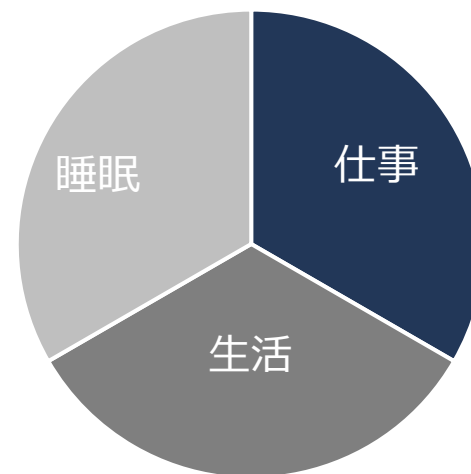
電気代の支給（考え方の例）

些細なことだが不満が出やすい。公平な根拠で支給。

世帯人数ごとのひと月あたりの電気代

世帯人数	ひと月平均電気代
2人	9,559円
3人	11,024円
4人	11,719円
5人	12,846円

2018年総務省統計局家計調査



1人あたり5,000円/月と仮定

1日の1/3が仕事でかかる電気代と仮定

1人1日の仕事でかかる電気代

$$5,000円 \div 30日(ひと月) \times 1/3(仕事時間) = 55.6円(切り上げ)$$

1日60円

月4日のテレワーク制度なら、テレワーク支給で240円程度を支給。
また、他の手当と合わせて手当を決めて支給する方法もあり、公平性、納得感を醸成する。

5

今使える 補助支援制度

テレワーク補助金・助成金制度(中小企業向け)

名前	管轄	補助金額 (補助率)	申請期間	概要・留意点
事業継続緊急対策 (テレワーク)助成金	都	250万円 (10/10)	~2020/7/31	<ul style="list-style-type: none"> 対象：PC、スマホ、ルータ、ツール利用料など 2020TDM推進プロジェクトに参加 常時雇用2~999名(中堅企業もOK)
はじめてテレワーク	都	40~110万円 (10/10)	~2021/3/31	<ul style="list-style-type: none"> 都のテレワークコンサルティングを受けていること 2020TDM推進プロジェクトに参加 常時雇用2~999名(中堅企業もOK)
IT導入補助金	国	30~450万円 (1/2~3/4)	~2020/12/下 (C型：~7/10)	<ul style="list-style-type: none"> A、B、C-1、C-2類型がある 対象：ソフトウェア、ハードウェア等(C型) 450万には賃上目標が必須
小規模事業者 持続化補助金	国	50~150万円 (2/3~3/4)	3回：2020/10/2 4回：2021/2/5	<ul style="list-style-type: none"> テレワーク、非対面ビジネス等への特例あり ハードウェアは対象外
働き方改革推進支援 (テレワークコース)	国	40~300万円 (1/2~3/4)	~2020/12/1	<ul style="list-style-type: none"> 一部通信機器(ただしPCはシンクライアントのみ) 就業規則変更、研修など

※随時条件などの変更がありますので詳細はそれぞれの募集要項等をご確認ください

テレワーク化の流れは必須

今をチャンスと捉えて進化させよう

まずは意識改革から！

